

栃木県立足利南高等学校 学校評価票 令和3年度 生徒テーマ：“夢のはじまり”

学校組織目標：教育の質を高める総合学科・チーム足南

～未来に照準を合わせて、新しい日常にチャレンジ～

本年度の目指す生徒の姿

- 自分のよさや強みに気づいて、それを学校生活の中で発揮する生徒
- 目的意識や進路の自覚を深めて主体的に学び、学ぶことの楽しさを見出す生徒
- 様々な立場や考え方を尊重し、他者と協力して活動に取り組む生徒
- よい習慣や行動を身につけ、心と身体のバランスを保ち、健康を増進する生徒

取組の視点

生徒

- 「産業社会と人間」の意義を確認し、各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動等との有機的なつながりを意識しながら生徒の「自分探しの旅」を支援する。
- 生徒一人一人のよさや強みを認め励ましながら自己肯定感を高める。
- かかわりの中での生徒理解に努め、課題や問題に対する指導・支援につなげる。

教職員

- 日頃から感染防止対策の徹底を図る。地域の感染状況を適切に見極めうえて、感染リスクの低減を図り、ICTも活用して学校行事や諸活動を安全に実施する。
- 原点に戻る（ねらいの意識化・明確化）。
- 優先順位、働き方改革と業務改善、ワーク・ライフ・バランスを意識する。

評価項目(具体的目標)	教職員評価				学校関係者評価	
	評価の観点(具体的方策)	評価結果		次年度以降への改善策	評価	ご意見・ご助言
目標(1) 学びのある授業	1) 適切な問いや課題を与えて学ぶ意欲を高め、基礎基本の習得と考える力の育成を図り、学びの実感の持てる授業を行う。	B	B	タブレットや電子黒板などICT機器を効果的に活用したり、体験的な学習活動を取り入れたりしながら、学びの実感が持てる授業を行う。 観点別評価の在り方について共通理解を図り、指導と評価の一体化を図る。	B	ICT機器を取り入れた授業を増やしていただけるよう期待しています。
	2) 新学習指導要領が求める学習評価のあり方について教員が協働して研究し、評価の改善を通して授業の改善につなげる。	B				
目標(2) 居甲斐のある学校生活	1) 学校行事、部活動、生徒会活動を通して活動する喜びを体験させ、充実感や達成感を味わわせる。	A	B	次年度も教育活動と感染防止の両立を図り、できるだけ多くの学校行事や諸活動を実施することによって生徒の居場所をつくり、人間性や社会性を育て、望ましい集団づくりを行う。	B	生徒の育ちを支援するため、感染防止を図り可能な限りで学校行事を実施していただきたいです。
	2) 集団の中で各人の役割意識を高め、責任ある生徒を育てるとともに、人権や多様性を尊重し合う集団づくりに取り組み、いじめの未然防止を図る。	B				
目標(3) 「自分探しの旅」と進路実現	1) 「産業社会と人間」を中核としたキャリア教育の充実を図るとともに、進むべき進路やそのために必要な科目選択に関する指導、支援を適切に実施する。	A	B	感染状況を適切に見極めながらスクールインターシップなど校外での進路行事の実施に努め、キャリア教育の充実と生徒の進路意識の向上を図る。	A	体験学習不足のためB評価のようですが、生徒保護者とも高評価なのでAにしました。総合学習発表会への2年生の参加や講座発表の導入は自分探しに役立ったと思われます。
	2) 進路に関する行事や個別指導を適切に実施し、生徒の強みを生かした進路実現を図る。	B				
目標(4) 心と身体の健康	1) 感染防止対策の徹底や保健指導・清掃指導の充実を図り、健康面・衛生面から生徒の学校生活を支援し、安全で清潔な過ごしやすい環境をつくる。	A	A	引き続き感染防止対策を徹底し、健康で安全な学校生活を送れるように指導・支援する。 生徒の抱える悩みや問題について教育相談の充実を図り、SCや関係機関との連携のもと学校生活への適応を支援する。	A	学校公開の際、校内がきれいで、消毒の設置数等感染防止対策がよくなされてると思いました。継続してお願いします。
	2) 生徒や保護者が抱える問題や悩み等について教育相談の充実を図るとともに、教職員間の情報共有やSC・関係機関との連携を通して組織的な支援を行う。	A				
目標(5) 安全・安心な学習環境	1) キャリア教育の観点を踏まえて基本的な生活習慣の育成を図り、規律ある行動と落ち着いた学習環境の維持・形成に努める。	B	B	基本的な生活習慣を身に付けることの意義を確認し、自律的な行動が取れるよう指導・支援する。日頃から問題行動の予防と事故防止に努め、安全で落ち着いた学習環境に維持に務める。	B	SNS対策や薬物等に関する講話の実施などを通して、生徒一人一人が規範意識を高め、安全な生活を送ることができるよう引き続き支援をお願いします。
	2) 日頃の生徒観察、声かけ指導等により、事故防止や問題行動等の未然防止を図る。	A				
目標(6) 開かれた学校・地域との連携	1) ホームページの活用について検討し、内容の充実と更新体制の確立を図る。	A	B	分かりやすいホームページづくりを心掛け、適切な情報発信によって利便性の向上と広報活動の充実を図る。 校外の教育活動については可能な限り参加するとともに、コロナ収束後の活動再開に向けて必要な準備を行う。	B	ホームページの充実を感じました。特に、「今日の出来事」の更新のご苦勞が伝わってまいります。コロナ禍での開かれた学校・地域との連携はなかなか難しいと思いますが、今後の活動に期待しています。
	2) 地域・PTA・同窓会・関係団体等との連携、ボランティア活動・国際交流への参加について、今般のコロナ禍の事情を踏まえ、可能な活動を選択して取り組む。	B				

AA=A AB=B AC=B BB=B BC=B CC=C